

# 秋田県警察官の採用試験・勤務待遇など

## 採用試験

秋田県警察官の採用試験に合格された場合、原則として秋田県内での勤務となります。男性のみ共同試験を実施している警視庁・千葉県警を第2志望として受験することができます。

警察官A・女性警察官A

大学を卒業した方、または、大卒見込みの方が対象の試験

警察官B・女性警察官B

大卒・大卒見込み以外の方が対象の試験  
(高卒見込みや短大卒見込み、中卒、高卒、短大卒など)

受験資格には、年齢制限があり、35歳になる年までの方が受験できます。身長、体重の基準はありません。

## スケジュール表

(多少日程が前後する場合があります。)

5月中旬ころ	警察官A・女性警察官A(第1回)の受験申込み受付開始
7月中旬ころ	警察官A・女性警察官A(第1回)の第1次試験
7月下旬ころ	警察官A・女性警察官A(第2回)の受験申込み受付開始
7月下旬ころ	警察官B・女性警察官Bの受験申込み受付開始
8月上旬～下旬ころ	警察官A・女性警察官A(第1回)の第2次試験
9月上旬ころ	警察官A・女性警察官A(第1回)の最終合格発表
9月中旬ころ	警察官A・女性警察官A(第2回)の第1次試験
9月中旬ころ	警察官B・女性警察官Bの第1次試験
10月～11月上旬	警察官A・女性警察官A(第2回)の第2次試験
10月～11月中旬	警察官B・女性警察官Bの第2次試験
11月下旬ころ	警察官A・女性警察官A(第2回)の最終合格発表
11月下旬ころ	警察官B・女性警察官Bの最終合格発表
翌年4月	警察官として採用、秋田県警察学校へ入校

警察は階級社会です。学歴は関係なく、実力で昇任することができます。



## 第1次試験

※ 詳細は、採用試験受験案内を確認してください。

試験種目	問題形式	配点	方法・内容
教養試験	択一式	100点	社会・人文・自然・文章理解・判断推理・数的推理・資料解釈
論文(作文)試験	記述式	100点	論文(作文)用紙1枚(800字程度)

※ 第1次試験の日程は、1日で終了となります。

## 第2次試験

試験種目	配点	方法・内容
体力試験	実技試験 100点	握力・立ち幅跳び・反復横跳び・バーピーテスト
口述試験	300点	人物についての個別面接による試験
適性検査	—	職務遂行に必要な適性について検査

※ 体力試験と口述試験は、日程が異なります。どちらの試験日にも来ていただく必要がありますので、注意してください。また、体力試験当日、試験前に適性検査を受けていただく必要があります。

## 給 与

初  
任  
給

警察官A: 21万1,830円  
警察官B: 17万2,364円

### 給与想定1 (警察官A採用: 勤続10年)

巡査部長、警察本部刑事部勤務、妻子あり、自宅居住

基本給 約29万円、合計約39万円

時間外勤務手当5万6千円、通勤手当3千円、特殊勤務手当1万円  
宿日直勤務手当7千円、扶養手当2万6千円

### 給与想定2 (警察官B採用: 勤続10年)

巡査部長、警察署刑事課勤務、妻子あり、官舎居住

基本給 約26万円、合計約35万円

時間外勤務手当3万7千円、休日勤務手当2万4千円  
特殊勤務手当1万円、扶養手当2万円

### 注意

上記給与想定額から、所得税、住民税、厚生年金掛金、互助会掛金、警察厚生控除金(保険)などが差し引かれます。

### ボーナス

期末手当、勤勉手当＝通称「ボーナス」は、勤務年数等に応じた金額が毎年6月・12月の年2回支給されます。採用年のボーナスは、警察官Aの場合、6月30日に13万円程度、12月10日に45万円程度が給料のほかに支給されます。(職歴・学歴によって個人差あり)

### その他

警察官は、他の公務員、民間企業とは異なり、特殊な勤務です。時には、危険が伴う場合もあり、他の公務員よりも高い水準の給料となっています。上記以外にも様々な手当があるほか、自らの努力で昇任することにより、基本給を上げることが可能です。

## 制度など

### 保険について

警察官が加入している保険は**格安！！**

警察官は、**全国約26万人**います。

全員が加入しているわけではありませんが、ほとんどの職員が加入しており、**保険運営は安定**、これに伴って保険料は民間の保険会社よりも**格安**にすることが可能であり、**保証内容も手厚**くなっています。

### 融資について

警察では、職員に対する**貸付制度**もあります。

最大300万円まで融資可能で、**給料天引き**なので、延滞することはありませんし、気がいたら完済しているというのが魅力です。

また、民間の住宅ローンやマイカーローンなどでも、**警察官という職業の信用性**から、審査が通りやすく、**マイホーム**も夢ではありません。

### 警察官待機宿舎・共済宿舎

警察官待機宿舎・共済宿舎(いわゆる官舎)は、職員の福利厚生を目的としているため、格安な入居料で住むことができます。

通常、アパートを借りるとなると、敷金・礼金などで入居時に20万円ほどの資金を用意する必要がありますが、官舎は敷金・礼金・諸費用など一切不要です。

引っ越しは、転勤のある職業ならではのことですが、格安の入居料で住めるのは貯金のない若手職員にとってありがたいことです。

毎月の入居料については、单身(独身)用官舎で約1万円、家族用官舎で1万5千～2万円程度となっています。

※引っ越しに掛かる費用についても、人事異動に伴う旅費として数万円を負担してくれます。(異動する距離等によって金額が異なります。)

# 交番勤務

## 警ら

警らは、徒歩や自転車、パトカーに乗って警戒する業務です。警らでは、交通違反を検挙したり、不審者に対する職務質問を行ったり、少年補導をするなど、幅広い業務を行います。

## 巡回連絡

巡回連絡は、管内の受持区内の各家々を1軒1軒訪問し、家族構成等の把握、付近における発生事案に関する注意喚起、振り込め詐欺等の防犯指導などを行う業務です。これは、事件や事故があった場合になくはならない業務となります。例えば、その家や隣の家が火事になった場合、中に取り残されている人がいないかを把握したり、家人に連絡を取って安否を確認するため、どの家に、どんな人が住んでいるのかを事前に把握しておく必要があります。

## 立番

立番は、交番前など定点を決め、いつも同じ時間に立って警戒することで、定時通行者を把握することができるのと同時に、見かけない通行者や不審者を見つけることができる業務の一つです。また、地域住民とあいさつを交わし、良好な関係を構築することで、いざという時の協力関係が築けるとともに、警察官の姿を見せることで住民に安心感を与えることもできる業務となります。

## 現場臨場

交番(駐在所)は、各地方にまんべんなく配置され、各地区の安全を守っていますが、受持管内で有事の際は、一番最初に現場臨場するという働きがあります。普段の生活で、警察官の姿を見ることはほとんどないかもしれませんが、日々110番通報がなされるなど、助けを求めている人がたくさんいます。どんな現場に行くか……例えば、交通事故現場や口論、暴行事件現場、盗難現場、火災現場、各種救助現場、傷病人、作業事故現場、災害現場、近隣トラブル、異常発信通報(警備保障会社と契約している会社や自宅に異常を感知した場合に110番通報がなされる仕組み)など様々です。

## 在所

在所勤務は、交番内で事務処理を行う業務となります。在所勤務中でも、道が分からなかったり、落とし物をしたりするなど、交番を訪れる方は多くいます。交番は、何かあった場合に住民が頼れる一番身近な存在です。警察業務は、想像以上に書類作成等の事務処理が多いのも現状ですが、業務の合理化・効率化を図るため、定期的に職員の見解を集約し、業務改善を行っています。

交番勤務は、三交替制です。24時間の当番勤務を行い、当番が終わった非番と次の日が休みとなります。

**勤務→非番(休み)→休み→勤務→非番(休み)→休み**

というサイクルになります。

交番勤務であっても、休暇の取得はできます。仮に1当務を休んだ場合は、5連休となります。

休みは充実していますが、時には、休みの日であっても大事件が発生した場合などは招集となり、各種勤務に当たることがあります。そういった場合は、時間外勤務としての申請や休みを振り替えることが可能です。

交番勤務は、あらゆる警察活動の基本であり、地域の要といえます。